

三井のリフォーム住生活研究所 西田 恭子

ハワイ島コナの家々

ホノルルから乗り換え、
常夏の島ハワイ島に行った
時のこと、地元の人から「お
やっ」と思う話を聞いた。

ハワイ島の西海岸コナ地
区での話なのだが、「南北
に伸びる二一号線のショッ
ピンクセンターより南がハ
ワイ。そこから北はアメリ
カだよ」と言うのだ。五三
年前に、ハワイ諸島は島民
の九割が賛成してアメリカ
合衆国の五〇番目の州に加
わったと聞いている。アメ

リカ合衆国の、ハワイは一
つの州であり並列比較する
ようなことだろうか？

ハワイ島はもとも火山
によって出来た島で、今で
も溶岩が流れ出る溶岩大
地。そのところどころにピ
レッジが開発されているの
だが、もう一度「どうい
うことか」と、聞き直して
みた。

南側にはハワイ島の島民
が住み、北側には、リゾー
ト地開発とアメリカ本土か
ら来た人々の一億円以上の
家々が並ぶ地域が続くとい
う。

北側のリゾート地のホテ
ルに滞在していた私は、早
速車を走らせ、こちらがハ
ワイと言われる南に向かっ

た。

島民は海側に住んでいる
というので、国道からさら
に海岸側の道に入り家々を
見て回った。確かに一般的
な家ではあるが、東京の狭
小宅地を見慣れている私に
は、乗り付けるガレージス
ペースがある敷地にゆとり
を感じただけではなく、海
辺で思い思いに暮らしを作
り上げている気配が快かつ
た。

また国道を北上し、アメ
リカと呼ばれるピレッジに
向かったが、日本で言う湘
南国際村をもっと大きくし
た感じで、それは国道より
山側にあり、海を見下ろす
暮らし方であった。

次の日は、州が提供する
所得が低い限られた人が入
れる団地を見にいった。だ
が団地という表現が似つか
わしいかどうか……。五〇
坪ぐらいの土地に三〜四つ
のベットルームがある戸建
住宅が八棟建っていた。

教会が支給してくれる食
事と、州が用意してくれる
この家があれば、常夏の国
では何とか暮らしていける
そうだ。建てたばかりの綺
麗な住宅で、我々の感覚で
は、どこが低所得の方の家

なのか、不思議なくらい
だ。

一日ガイドをしてくれ
た、ポリネシア系島民の彼
の家について聞いてみた。
ハワイ島では家はシェアす
るといふ。ベットルーム数
によって何家族も一緒に暮
らすのは、別段不思議なこ
とではないというのだ。平
均賃金と家賃の関係からし
て、州が提供する家もどう
やらシェアすることで成り
立っているのかもしれない。

ハワイ島では富士山より
高い四、〇〇〇級の山が
あるため、雨量も確保でき
ているらしく、彼の家も洗
い物など雨水を利用してい
るといふ。水は屋根の雨水
だけという家も多い。しか
し、エルニーニョ現象の時
は水屋さんが大忙しで大変
だったという。そんなこと
を言いながら、彼は雨水で
ない家に住むために、休ま
ず働き続けることはしない
という。

水平線に沈む真っ赤な太
陽と満天の星を見ながら、
宇宙の中の自分を感じなが
ら暮らす感覚が大事だとい
う彼を、なんだか羨ましく
も感じた。



西田恭子氏のプロフィール
「三井のリフォーム」で設計を手かけ二五年。暮らしの創造に貢献す
る「三井のリフォーム住生活研究所」の所長に就任。
新聞・雑誌・書籍の執筆、各種セミナーで講演を行う。日
本女子大学非常勤講師。(株)日本建築家協会正会員。